

# 第9回海外視察報告書

中国 上海、杭州



2012年 4月19~22日

日本梱包管理士会

## 第9回海外視察報告書にあたり



日本梱包管理士会  
会長 溝井広明

去る4月19日から22日の3泊4日の日程で、日本梱包管理士会の目玉事業のひとつであります海外視察**研修**を実施し、無事終えることが出来ましたのでご報告させていただきます。

昨年、東日本大震災の影響で延期いたしました関係で一年越しの実施になりましたが、現地天気予報で雨にもかかわらず視察中は雨に降られることなく無事日程を終了することができました。また、訪問先の皆様の熱烈歓迎のお出迎えにより、現地事情の把握と参加者間の懇親も深める事ができ、大変有意義な4日間でした。

今回の視察先のご手配をして下さった、株式会社サンリツの三浦社長様と株式会社大村総業の乾社長様をはじめ、現地スタッフの皆様のおかげで、無事終了できましたことを、この紙面をお借りして改めて厚く御礼を申し上げます。

今回の視察は、第1回の海外視察である韓国ソウルからかぞえて9回目になります。また、中国、上海への視察は、2002年に一度訪問しており、今回で2回目になります。前回の上海にも私は参加したのですがその当時と比べてみても、街の風景、人々の服装等、中国の情勢の変化の速さを実感することができました。

初日に上海虹橋空港に到着後、上海杉立包装様を視察し、翌日は洋山港を見学したのち、一路バスにて杭州へ移動し大村総業特耐王包装様を見学と、バスでの移動時間の方が視察時間より大幅に長い強行日程でしたが、現地ガイドさんの現地事情の話をきいたり、車窓から眺める風景などで中国の現状をある程度理解できたのではないかと思います。

また、これだけ経済発展めざましい中国では、沿岸部と内陸部の格差も以前と比べ非常に大きくなっていることは、これからの中国の大きな課題であろうと実感しました。

梱包管理士会として、今後も海外視察をふくめ、様々な企画を通じ、世界に通用する人材育成の一助になればと思っております。今後とも梱包管理士会の活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 中国視察研修の日程（羽田発着）

- 日 時 : 平成24年4月19日（木）～22日（日）
- 視察先 : 上海港湾施設 上海杉立包装 大村総業特耐王包装
- 宿泊ホテル : 上海 上海君麗大酒店（J A D E L I N K H O T E L）  
杭州 浙江国際大酒店（Z H E J I A N G I N T E R N A T I O N A L  
H O T E L）
- 4月19日 7:25 羽田空港国際線ターミナル3階  
JALチェックインカウンター前集合  
\*幹事（宮内）よりeチケット他手渡し後、個人チェックイン  
\*緊急連絡先：宮内携帯 080-3509-3615
- 9:25 JAL081便にて出発
- 11:30 上海・虹橋空港 着 市内レストランにて昼食
- 15:30 上海杉立包装（サンリツ）視察
- 18:00 夕食後、スーパー雑技ERA鑑賞 後、ホテルへ
- 4月20日 ホテルにて朝食
- 8:00 ホテル出発（専用ガイドとともに専用バスにて）
- 10:00 上海港湾施設（洋山港） 見学
- 11:00 港湾見学後、杭州へ。車中にて昼食（お弁当）
- 15:30 大村総業特耐王包装 視察
- 19:00 レストランにて夕食 後、ホテルへ
- 4月21日 ホテルにて朝食
- 8:00 ホテル出発 専用車にて杭州半日観光へ「西湖遊覧」
- 12:00 昼食後、専用車にて上海へ移動
- 15:30 上海到着後、市内観光へ（新天地など）
- 19:00 市内レストランで夕食 後、ホテルへ
- 4月22日 ホテルにて朝食
- 後、専用車で虹橋空港へ
- 12:50 JAL 082便にて虹橋空港出発
- 16:35 羽田到着

第9回海外視察研修 中国上海  
2012年4月19日～22日

敬称略順不同

	氏名	フリガナ	会社名	参加	支部	備考
1	溝井 広明	ミヅイヒロアキ	誠和梱包製箱(株)	1	1	
2	宮内 健之	ミヤウチケンジ	(株)サンリツ	1	2	
3	遠藤 直裕	エンドウナオヒロ	(株)大村総業	1	3	
4	安達 誠	アダチマコト	安達包運倉庫(株)	1	4	中部空港
5	内田 清春	ウチダキヨハル	東新物流(株)	1	2	
6	古賀 あや	コガアヤ	(株)新開トランスポートシステムズ	1	3	
7	大森 一幸	オオモリカスユキ	(株)新開トランスポートシステムズ	1	3	
8	中里由起夫	ナカサトユキオ	(株)新開トランスポートシステムズ	1	3	
9	山内 勝吾	ヤマウチショウゴ	山勝総業(株)	1	1	
10	渡邊 和雄	ワタナベカスオ	大網梱包(株)	1	1	
11	三浦 康英	ミウラヤスヒデ	(株)サンリツ	1	2	
12	佐々木勝彦	ササキカツヒコ	長島梱包(株)	1	1	
13	高本 正美	タカモトマサミ	谷口運送(株)	1	2	
14	菅原 誠	スガワラマコト	(株)太洋	1	2	
15	桑畑 康幸	クワハタヤスユキ	(株)太洋	1	2	
16	乾 朋義	イヌイトモヨシ	(株)大村総業	1	3	
17	佐久間幸夫	サクマサチオ	(株)大村総業	1	3	
18	島 仁	シマヒトシ	(株)大村総業	1	3	
19	藤井 孝行	フジイタカユキ	(株)アイパックス	1	4	中部空港
20	菅原 善一	スガワラヨシカス	(有)共和包装	1	3	
21	太田 猶二	オオタユウジ	真澄梱包(株)	1	3	
22	根本 次雄	ネモトツギオ	三工興産(株)	1	3	
23	山崎 貴洋	ヤマザキタカヒロ	(株)ロジパック・マルハチ	1	3	
24	前田 篤宏	マエダアツヒロ	橋元運輸(株)	1	4	中部空港
25	鬼頭 秀忠	キトウヒデタダ	(株)丸宗	1	4	中部空港
26	竹田 一美	タケダカズミ	(株)丸宗	1	4	中部空港
27	松井 昌幸	マツイマサユキ	月島総業(株)	1	1	
28	西村 泰輔	ニシムラタイスケ	(株)丸宗	1	4	中部空港
29	松下 仁	マツシタヒトシ	(株)ヨコハマ機工	1		協賛
30	大澤 準	オオサワジュン	(株)大澤保険事務所	1		協賛
31	吉田 英臣	ヨシダヒデオミ	(株)太洋	1	3	
32	西根 隆行	ニシネタカユキ	(株)千歳梱包	1	3	
33	松井 守人	マツイモト	長島包装有限公司	1		空港合流
34	余 志成	ヨシセイ	(株)大村総業	1	中国	ホテル合流
	参加者合計			34		

## 第9回海外視察研修

第一支部  
山勝総業（株）  
山内 勝吾

4月19日、今日から3泊4日で上海 杭州視察研修だ。朝4時に起床した。羽田空港まで、車で行くか電車で行くか迷ったが車だと途中で事故渋滞にハマると、間に合わないから、電車を選択した。前日に、電車の時間を調べた。

朝4時45分に家を出て、10分歩いて最寄り駅に着いた。朝5時06分の各駅停車池袋行に乗った。

この時間でもスーツ姿のサラリーマンが沢山乗っていた。電車は、定刻どおり池袋駅に着いた。ひとまず安心した。後は山手線とモノレールを経由して、羽田空港に7時00分に到着した。

待ち合わせ場所に行きあいさつをして、チケットを受け取って、根本さんとチェックインして、フライトまであと2時間ある。2人で朝食を食べに、コーヒーショップに入った。まだ、フライト時間迄たっぷり時間がある。免税店など見て時間を待った。

そうこうしている間に時間になった。9時25分発JL081便に乗り出発した。

乗って約1時間で機内食が配られた。意外と美味しかった。ちなみに、日本と中国は時差が1時間ある。1時間得をした感じだ。飛行機は、定刻どおり上海 虹橋空港に到着した。入国審査をして荷物を取りに行き宮内さんが、点呼をして人数確認して現地のガイドさんと、大型バスに乗り込んで、向かった先は上海のレストランだ。

勿論 中華料理だ。日本の中華料理と違い、香辛料がかなり強い。味的には、あまり美味しくなかった。

次の向かい先は、上海杉立包装有限公司（サンリツ）グループです。

工場スタッフは、ほぼ現地人です。創立当時は、三浦社長が何度も出向き指導したそうです。梱包材は、ほとんどがLVLです。材木だと燻蒸の問題があるそうです。工場スタッフの月給は約5万円だそうです。

その他の内容は別紙にて報告します。

この海外視察研修に参加させて頂き本当に有難うございました。



## 上海杉立包装会社概略及び改善の歩み

電話: (8621) 60956300

ホームページ: [www.sanritsu-pack.com](http://www.sanritsu-pack.com)

ファックス: (8621) 60956384

住所: 上海市嘉定区徐行鎮前曹公路1158號海江工業園區14棟

上海杉立包装有限公司は精密機械及び重量機械の梱包、各種荷役、陸上運輸を行う梱包会社であります。「お客様の大切な品物をお守りする」という使命のもと、梱包資材・技術を開発、経済性・安全性・利便性を追求しております。

当社は2010年11月に設立、上海市嘉定区に立地。現在工場の敷地面積は約10000㎡、建屋の面積は5300㎡。基本的な設備は10Ton天井クレーン(工事中)、フォークリフト、各種重量計、パネルソー、クロスカットソー、バンニング・デバンニング用のスロープを有しております。

株式会社サンリツの指導・協力を受け約一年半、当社は大型機械メーカーとの取引も出来るようになり、月々の扱い量も大幅に上昇、現場作業員も設立時の3名から現在では28名まで拡大しております。

また、これら営業面での協力は勿論、技術、安全管理、5S運動に関する指導も当社の発展の支えとなっております。

日本梱包管理士会館の長年に渡る梱包技術革新を指導、中国の工業包装技術に新たな光を灯すべく、昨年は株式会社サンリツ三浦社長より3回に亘り、熱意あるご指導を頂きました(添付写真は1~8)。

現在、上海杉立は総経理蔡及び副総経理金の経営指導の下、社員教育を徹底、各領域で必要な競争力を身に着けるよう、また激化する中国経済で生き抜けるよう社員教育を行っております。

従業員は会社の貴重な財産、日本では当たり前的事ではありますが、当社が業務拡大を成し得た、根幹であります。

弊社は以下の三の点に関して特に管理を行っています。

### 一、安全管理：

お客様が増える中、作業が多忙化し見落としがちな、現場での安全管理は全従業員共通意識であります。作業員の服装・ヘルメット着用、作業中の細かいポイントも常に指摘し合う事と成っています。

新入社員研修ではこの安全面の管理を最初に研修、理解を得られるまで技術指導を始めないという徹底を行っております（添付写真9、10）。

### 二、育成訓練：

技術面は勿論、各方面での教育訓練を行っています。

（添付写真11、12、13、14、15、16）は梱包、木箱製作に対する育成訓練会の模様であります。林太香（木箱作成）、曾果峰（安全面）、楊嗣崢（技術面）を中心とした教育訓練。

### 三、環境衛生：

5S教育を通して、5Sの整理、整頓を強化、職場環境を清潔に保つ事で従業員の意識改革を行っております。これにより今では各従業員が率先して終業時、使用機器、工具、木材等の整理、清掃を行い翌日の作業を気持ちよく開始出来る様にしております。

以上、簡単な紹介となりますが、梱包技術の礎を築かれた、日本梱包管理士会の皆様に少しでも近づける様、また中国の梱包技術発展を目指し邁進してまいります。お気づきの点がございましたら、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りたく何卒宜しくお願い申し上げます。

添付写真（梱包、現場作業）



1



2



3



4



5



6



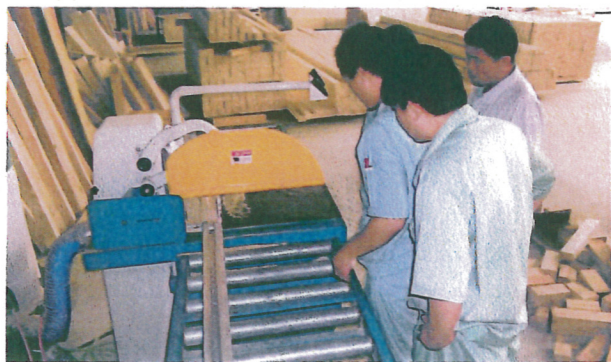
7



8



添付写真(安全、技術訓練)



9



10



11



12



13



14



15



16

# 中国視察 4 月 20 日（金）（2 日目）研修レポート

株式会社 太洋  
湘南事業部  
桑畑 康幸

- ・ 上海港湾施設（洋山港）見学
- ・ 大村総業特耐王包装様（杭州）視察
- ・ 懇親会

## 【上海港湾施設（洋山港）見学をして】

4月20日（金）8:00 ホテルを出発し、上海港湾施設（洋山港）へ向いました。洋山港は上海市の東南30km 沖合の杭州湾上嵎泗列島の洋山に建設された新しいコンテナターミナルです。従来の上海港は、コンテナ取扱数の増加により限界に達し、年々大型化するコンテナ船も水深の浅い上海港に入港するのは困難になり、長江沿岸の外高橋地区に水深10～11mという埠頭を建設した。しかし、長江の航路の深さは10mもなく、コンテナ船は満潮時に入港しなければならないという条件があり、大型コンテナ船が入れるようにする為に深さ15mの埠頭の建設が進んでいた。上海港では大水深の埠頭や航路の建設は困難であった為、外海の東シナ海に新たな上海港を建設開始。上海市の南沖の杭州湾にある大洋山島と小洋山島（舟山群島嵎泗列島の一部）を埋め立て、水深15m以上で世界の取扱量の国際ハブ港湾の洋山港が誕生しました。

2002年から4期に分けた洋山港の建設事業を開始する。上海市との間に長大橋・東海大橋が架かる。2012年に第4期が完成し、バース数は30、年間1500万TEU以上のコンテナを取扱量となる。これは日本の5大港（東京港、横浜港、名古屋港、大阪港、神戸港）合計のコンテナ取扱量をはるかに上回る。最終的には50バース、年間2500万TEU以上を取り扱うまでに増設する構想があるとの事。



【東海大橋入口ゲート】



【新設倉庫群】

上海市内からここまでは約80分。自家用車は通行禁止です。上海深水港商務中心付近には倉庫群が立ち並びつつある。洋山はもともと小さな漁村で、漁民たちが漁をしながら生活を営んでいたそうです。



[東海大橋]



[洋山保税港区の入りロゲート]

洋山港へいくには、東海大橋長さ 32.5 キロ(アクアラインの約 2 倍)所要時間にしてバスで約 30 分程です。多くのコンテナトラックに遭遇しました。杭州湾に伸びる橋脚。最終的には鉄道橋も並走予定。海の真ん中なので風が強い日が多い。台風時や波浪時には通行止めになるとの事。洋山保税港区の入りロゲートは自動化されていて、無人の様である。多くのコンテナ輸送車が列をなしていた。



[自然の岩山を登る]



[展望台からのパース]

遊覧区には全部で4つの展望台があり、その中の一つの展望台へ向った。急な上り坂を歩くこと約 30 分、眼下に少しずつコンテナ港の壮観な風景が広がります。自然の岩山の上り下りは結構大変でした。近くには港湾局の建物が立ち並び、保税港区の付帯設備となるビジネスセンターがあます。保税港区というのは、中国で初めての取り組みで、洋山港の大きな特徴の一つであるとの事。今回洋山港を視察させて頂き、上海の目指している 4 つの中心、1.国際経済の中心 2.金融の中心 3.貿易の中心 4.海運の中心 には欠かせない港であると感じました。

## [大村総業特耐王包装（杭州）有限公司様視察]

昭和 28 年に株式会社大村組（明治 36 年創立）として発足し、昭和 48 年に、株式会社大村総業と社名を改め、運搬荷役業・梱包業・トラック輸送・重量物運搬据付・倉庫業・通関業・産業廃棄物収集運搬業など、幅広い総合物流会社として実績のある会社です。さらに、安全性優良事業所認証、グリーン経営認証、エコアクション 21 認証の取得、など努力されている企業です。

工場設立の経緯としましては、それまでトライウォール社の販売会社として、ローカル企業が請け負っていましたが、そのローカル企業が他業種の新規事業を行いたいとの事で撤退し、その際にトライウォール社から(株)大村総業様へと要請があり大村総業特耐王包装（杭州）有限公司を設立。（資本比率は大村総業：85.1%、トライウォール社：14.9%）2005 年までは日本人スタッフを中心に業務を行っていたが、それ以降は現地のスタッフを中心に業務管理、現場管理を行っている。作業員の方々は、地方からの出稼ぎの方が多く、長くて 5 年短いと 1 年位で故郷へ戻るそうです。

現状の売り上げは、年 10%の成長率で推移し、今後は更に業務改善に専念し、利益管理を強化していくとの事でした。現状の売り上げとしては、

- ① 外資系、日系企業への強化段ボール資材提供
- ② 外資系、日系企業への一般段ボールの資材提供
- ③ 木箱梱包作業（出張作業）
- ④ 梱包資材の提供

我々、梱包管理士会一同を会社エントランスに横断幕にて“ようこそ大村総業特耐王包装へ！日本梱包管理士会御一行様”と盛大にお出迎え頂き、管理士会一同が圧倒されました。そんな感激の幕開けの後、工場内を社員の皆様でご案内して頂きました。



工場総床面積：3,332m<sup>2</sup>。(2階建) 1Fはシート数種類の加工設備機械が設置してあり、作業員の方が作業工程毎に、それぞれの設備機を使いこなし、丁寧に作業を行っていました。



2階は完成された保管品や資材等が平行、垂直の定位置保管がされていて、5Sの徹底が定着されている印象を感じました。

綺麗に積上げられた段ボールパレット ⇒

5Sの表示看板が日本語と中国語で記載され設置されていた。



工場奥には事務所があり、事務所内も整理整頓が行き届いて、業務をされている社員の方々も明るく笑顔で対応してくださいまし

た。

下駄箱も強化段ボール製 ⇒



今日まで“大村総業特耐王包装様”を築いてきたご苦勞を、乾社長様及び社員の方々から聞かせて頂き、異国の地で事業を発足し継続していく事の難しさを、痛感させて頂きました。現地の方とのコミュニケーションの難しさ、習慣、常識、非常識、感性の違いなどの様々な壁を一つ一つ、乗り越えられてきた結果だと敬服致しました。この度はご多忙の中での視察研修をさせて頂き、その上、手厚いご配慮、誠にありがとうございました。

### [懇親会]

2日目の懇親会は、洋山港の展望台に向かう急な登り坂を登り、長時間のバスの移動など大変お疲れの中ではあったと思いますが名刺交換を行い、貴重な情報交換をする事ができ、大いに懇親を深められた大変有意義な場となりました。普段は同業社という方々も多く、ある意味ライバル会社ではありますが、その様なことを全く感じさせない、和やかな雰囲気会で会話を楽しまれていたと思います。この様な場は、普段体験できる事ではないので、私としましても大満足で非常に貴重な時間となりました。次回この様な機会がありましたら是非参加させて頂きたいと思います。今後とも何卒、よろしくお願い申し上げます。





平成 24 年 4 月 28 日

(株)大村総業

営業部 遠藤直裕

## 日本梱包管理士会第9回中国視察研修会

### 報告書

日 程 : 平成 24 年 4 月 19 日(木)~22 日(日)  
視 察 先 : 上海港施設、上海杉立包装、大村総業特耐王包装  
宿 泊 ホテル : 上海 上海君麗大酒店、杭州 浙工国際大酒店  
参 加 者 : 23 社、31 名

中国での合流参加者:8 名 合計 39 名

4 月 19 日 羽田国際空港より 9:25 JAL081 便出発

4 月 19 日 上海虹橋空港 11:30 着

#### 1 番目の視察

上海杉立包装有限公司 PM3:00より

設立 2010 年 11 月、出資 HONESTY 社 80%、日本個人 20%資本金は不明。

業務内容は精密機械及び重量機械の輸出梱包、各種荷役、陸上運搬を行い、顧客先での出張梱包を主力としている。

工場の敷地面積は約 10,000 m<sup>2</sup>、建物の面積は 5,300 m<sup>2</sup>。

基本的な設備は 10 トン天井クレーン(設置中)フォークリフト 7 トン、クロスカットソー、コンテナ詰め用スロープを有している。現場作業員:28 名(当初 3 名よりスタート)

会社内容は(株)サンリツの技術指導(昨年、三浦社長様が 3 回に亘り現地で技術指導)、協力を受け約 1 年半経過、現在は大型機械メーカーの受注を初め月々の扱い量も大幅に伸びている。

中国での経営方針として激化する中国経済で生き抜けるよう、社員教育を徹底、各領域で必要な競争力を身に付けよう指導している。又、管理面では安全管理、教育訓練、環境衛生の 3 点に関して特に重要視している。採用は各種免許取得者を優先し採用(クレーン、フォークリフト、他)

平均輸出梱包単価 約 6,000 円/m<sup>3</sup>、梱包資材費は日本と変わらず配分は材料費 60%、工賃 15%、諸費 25%の比率。現場作業員の月給は 3,000 元以上で高い給与で定着させている。

今年の売上 6,500 万円/年。次年度の売上予想は、作業員数及び環境が整い生産を上げる事が出来、倍以上の 1 億 3,000 万円を見込んでいる。

夕食は参加者との交流及び紹介を含め懇親後スーパー雑技 ERA 鑑賞。

4月20日 8:00 ホテル出発 AM12:00 洋山港着

2番目の視察 12:00～13:30

上海港(洋山港)

(株)サンリツ築城顧問様より上海港の概要説明。

現在の上海港で荷捌きが限界と成り、隣接する洋山港へ国費により10年前より5期計画で港湾施設等の整備、拡充し、50基のバースを備えた最新式な国際ハブ港と成る予定。

現在4期工事まで完了し30基のバースが稼動、取扱量は20Fコンテナ1,500万TEU/年(20Fコンテナ換算数)

既に、取扱量は、神戸、名古屋、横浜、東京各港のコンテナ総本数を上回り、単独港では世界一のコンテナ取扱、荷捌き出来るハブ港と成る予定。

アクセスは各大都市より港まで高速道路網が整備され、洋山港周辺よりは殆どコンテナ運搬専用車両が切れ目無く往来している。本邦の様にコンテナヤードに於ける荷捌き渋滞も無くコンテナ運搬車両の受け入れゲートも数多く設置されている。

拡大する中国経済を象徴する港湾施設計画と成っている。

3番目の視察 PM3:30より

大村総業特耐王包装有限公司

業務内容:中国、国内日系企業及び外資系企業へのトライウォール、一般ダンボール、木箱、その販売、包装資材、荷造用諸資材の製造並びに販売。

売上構成:トライウォールとパレットのセット売り55%、一般ダンボール30%、合板木箱10%、資材販売5%。

工場の面積3,332㎡、2階立て、荷揚げ用エレベータX1基、2階一部が事務所200㎡

社員数19名(管理2名、営業3名、財務2名、現場12名)

現場作業者の月給は3,000元。杉立包装より若干安め。

主な設備:TW加工諸機械、切断用木工機械各種、フォークリフト

前日視察した杉立包装有限公司とは業務的に違いが有り、当社は包装資材の販売が主で、出張梱包作業は全体売上の10%ほど、トライウォールの加工及び合板箱の仕組み等、作業内容が異なる。

トライウォールシートの価格は日本価格と同等、又各グレードが多く有り700G以下のシートも有り、価格も安く比較的軽量梱包に採用している。

環境面では5S教育を通し整理、整頓が周知徹底されており、工場内は綺麗な状態で視察団を迎える事が出来た。

挨拶も良く、大きな声で迎え、更に熱烈歓迎垂れ幕など気配りしてくれた。

4月21日 8:00～16:00

#### 4番目の見学

##### 杭州、上海市内見学、中国茶葉博物館見学及び西湖観光

ガイドに依る杭州市人口は約800万人、緑が多く環境が良い都市として中国内では人気が高い。工場なども多く、各地より仕事を求め人が集まり、上海同様正確な人口は不明。

西湖も土曜日休日に於いては観光客が非常に多く、数キロ徒歩で遊覧船乗り場に向かう際、通路は切れ間なく群衆の往来で大賑わいしていた。

上海に向かい車中より上海市内の政府、役所関連の施設見学、最後に上海新天地(元フランス租界地)を見学、レンガ積の古風な洋館、石畳の路地と風景が一転しまうほど別格な地域で情緒があった。都市開発で撤去の計画を上海市民運動で守った地区と成っている。

夕食会は管理士会溝井会長の研修会締め挨拶で始まり、幹事のサンリツ宮内様に対して参加者全員で今回の労に対し感謝し、懇親会をかねて開催した。

4月22日 12:50 上海虹橋空港 JAL082 便帰国

#### 終わりに

上海市人口は、登録に依ると1,800万人。しかし現状2,800万人以上と推定されている。

巨大な人口を支える環境では居住場所など足りなく、高層マンションの建築ラッシュと成っている。然しながら富裕層しか入居出来なく、一般市民はより遠くの郊外へ安価な居住地を探している為、上海市郊外にも拡大している。市民にも活気が有り、観光地、又商店街など至る所で賑わっている。GDPも10%を切り経済拡大が鈍化したと報道があるが、好景気には代わりが無いように見えた。

日本では生産拠点が海外へ移り、空洞化が進む現状の中、又国内部物流量の落ち込みなど、輸入より輸出、海外展開関連の仕事の取り入れなど、物の動きに乗る営業展開を努めたいと感じました。

最後に、今回、日本梱包管理士会、企画の研修会に参加させていただき、貴重な体験又機会を頂きまして、感謝いたします。

以上

# 上海・杭州視察研修報告書

日本梱包管理士会 第4支部  
株式会社アイパックス  
20-50 藤井孝行

## はじめに

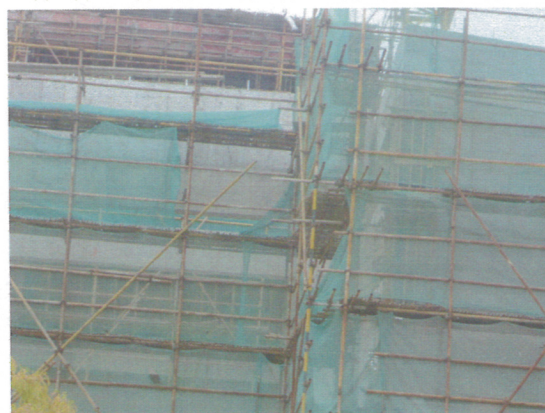
平成24年4月19日～22日（3泊4日）日本梱包管理士会、上海・杭州視察研修に参加いたしました。第4支部からは、安達誠顧問を筆頭に6名が集いました。

## 中国初入国の感想（上海事情）

名古屋からは中部国際空港へ午前7時に集合して中国東方航空にて上海まで2時間半のフライト、昼過ぎには到着。浦東空港からはガイドの手配したバンに乗り込み、一路、東京出発組の待つ上海市内のレストランへ向かいました。その車中から見える光景にまず驚きました。

片側4車線の高速道路では、我々の乗ったバンを次々に追い越していく車が、ベンツ、アウディ、BMW、フォルクスワーゲン、GM、フォード、ホンダ、ニッサン、トヨタ、レクサス・・・等の数々の高価な車。普段日本でも見る高級車ではあるが、その走っている比率が違ふと思われます（たぶん名古屋の2～3倍）。

そんな車に見とれていると次に現われたのが高層ビル住宅群。それも建設中のもの（20～30階建）。ただ、よく見てみると足場は竹で組んでありました。ちなみに、ここから上海の中心街まで車で30分ぐらいのロケーションでした。



ここでもう少し上海事情をお話したいとおもいます。

### <上海の人口>

正規登録の住民1,800万人+臨時登録の住民700万人+未登録の住民 $\alpha$  = 3,000万人  
正規登録の住民とは、上海の正規の市民。臨時登録の住民は、上海で何年か正規の仕事をした上で、正規登録の資格が得られる。未登録の住民とは、無断で上海近郊に住みついた人たちとのことで、上海の人口は30年間で5倍になったそうです。

<上海の高速道路>

上海市内には3つの環状線があり、内側から内環（50 km）、中環（70 km）、外環（100 km）でそれぞれにつながる高速道路が東西南北に張り廻らされています。

<上海の地下鉄>

地下鉄は現在10本（地図で見ると12～13本）500 km運営されており、工事中のものが10本あり2020年には20本1,000 km完成予定との事です。

また市の中心部には、森ビル（101階）を中心に見たことのない高さの高層ビルが多数あり、いっぱいあって数えられませんでした。

上海＝市、なんてとんでもなく、上海＝国？と思わせるほどの規模で、何かにつけて桁はずれに感じました。



視察先

<上海杉立包装有限公司>

1日目の視察先は、上海杉立包装有限公司様。株式会社サンリツ様の技術指導を受けて、2010年11月に設立。上海市嘉定区（F1も開催される、各国の自動車工場地帯）に位置し製函業務を主に行ってみえました。3～5tonの機械梱包がメインで、時には35ton超の梱包もされるそうです。客先は日系メーカーを主として、取り扱いとして80%が輸出用密閉木箱梱包（アジアが多いそうです）、20%が国内でSKID梱包だそうです。工場内は整理・整頓が行き届き、とても綺麗でした。



### <洋山港>

2日目午前には洋山港を視察してきました。元の上海港が10～11mの水深で大型船の着岸が出来ないので、30km離れた島に水深15mのコンテナ埠頭を建設。島までは、片側3車線の橋が延々32km続いています。

現在30バース完成で、既に日本の5大港（東京、横浜、名古屋、大阪、神戸）のコンテナ取扱量（1,500万TEU）を超えているそうです。

ただ、見た目には名古屋港もそここの規模ではないかなと思いました。



### <大村総業特耐王包装（杭州）有限公司>

2日目午後は、上海から浙江省杭州へバスに揺られて3時間程で大村総業特耐王包装様に到着、中国人スタッフの方々にお出迎えして頂きました。

株式会社大村総業様がトライウォール社の要望もあり2003年に設立されたそうです。業務内容は、日系企業、外資系企業への包装副資材の販売が主で、工場の見学中はトライウォールを加工機で加工中でした（下記右写真参照）。

また、株式会社大村総業様のすごいところは、2005年には日本人の現地スタッフを引き上げて、それ以降中国人スタッフの方だけで運用されていることです。現在、副総経理の方はなんと25歳！大学で工場の生産管理などを学ばれたということですが、それにしてもお若い方が副総経理をされているのが素晴らしいと思いました。



## 杭州・西湖視察

3日目の午前は、杭州と西湖を視察しました。杭州は中国6大古都と呼ばれ、緑ゆたかな気候おだやかな住みやすい都市で（6月には梅雨もあるそうです）、住みやすさでは、中国でも1、2の土地柄だそうです。

街の中心部近くに西湖という1周15kmの湖があり、国内でもとても有名な観光地で我々が観光した日が土曜日ということもあり、西湖に着いたときには中国人観光客で賑わっていました（まるで春の京都の様）。遠くは1,000km離れた所からも観光バスで来るそうです。遊覧船に乗船してとても優雅なひと時を味わいました。中国の皇帝も時を違え舟遊びを楽しんだのではないかと想像しました。



## 上海市内視察

3日目の午後は、上海中心部の観光スポットでもある新天地に行きました。古い建築物を取り壊さず現代に残した街並みで、今は高級ブランド店やイタリアンなどの高級飲食店が軒を連ね、多くの外国人がテラスでお茶を飲みながら会話を楽しんでいます。時間が許せば、ゆっくりと食事をして楽しみたいと思うようなところでした。



## 所感

最終日、ホテルを後に車中で上海の街並み眺めながら、中国に来る前の少なからず不安があったことを思い出しました。

食事は合うだろうか？衛生面は大丈夫か？街中は歩いても大丈夫か？等々。

結論としては、とても楽しく、刺激を受け、感動した視察研修でした。

(今回見た中国はほんの表面的な一部かもしれませんが・・・)

初日に衝撃を受けた車窓の風景もいつしか見慣れた風景になり、そして改めて気付いたことが、街のなかに殆んどゴミが落ちていないことでした。杭州を1時間程自由に歩いた時もそうでした。

中国は経済の発展の勢いだけではなく、文化・民意の向上もまた著しいのではないかと感じさせられる旅でした。

最後に、今回の視察研修をとりまとめて頂いた宮内幹事をはじめ、日本梱包管理士会の役員の方々、又快く視察を受け入れて頂いた各企業様に心よりお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

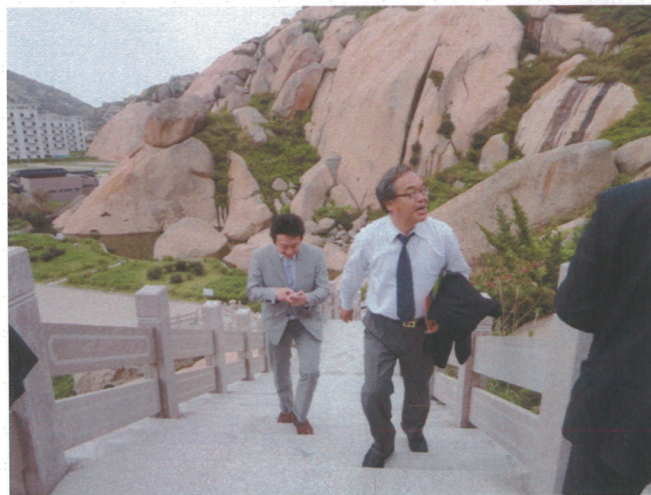
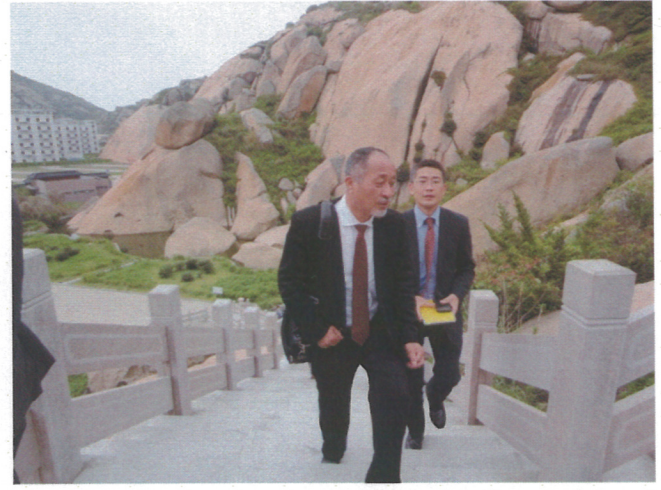


# 中国 視察研修写真集

第1夜 4月19日



## 上海港湾施設(洋山港) 4月20日



第2夜 4月20日



## 西湖遊覽 4月21日

